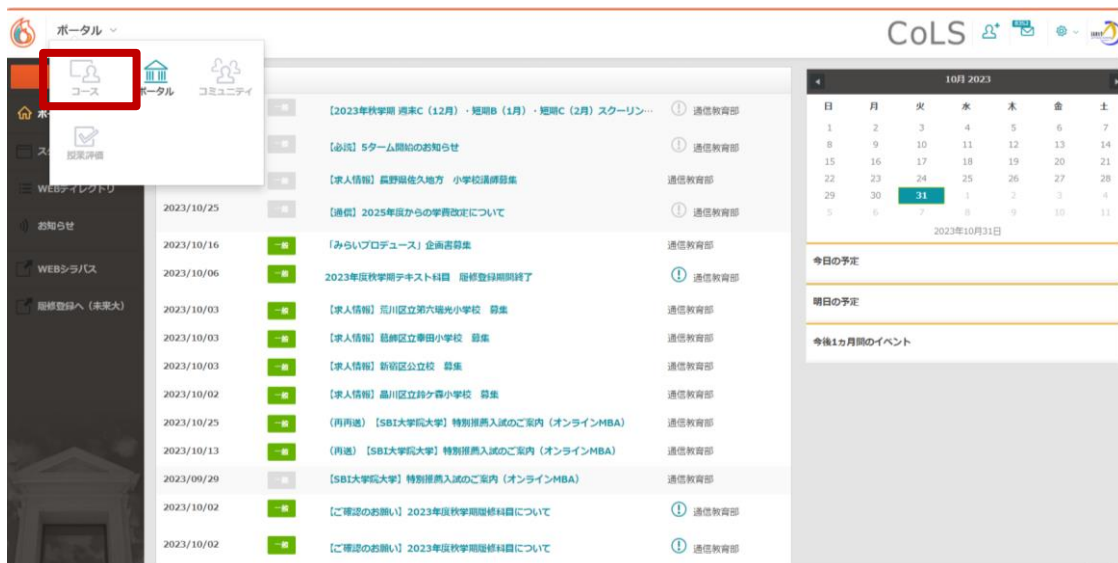


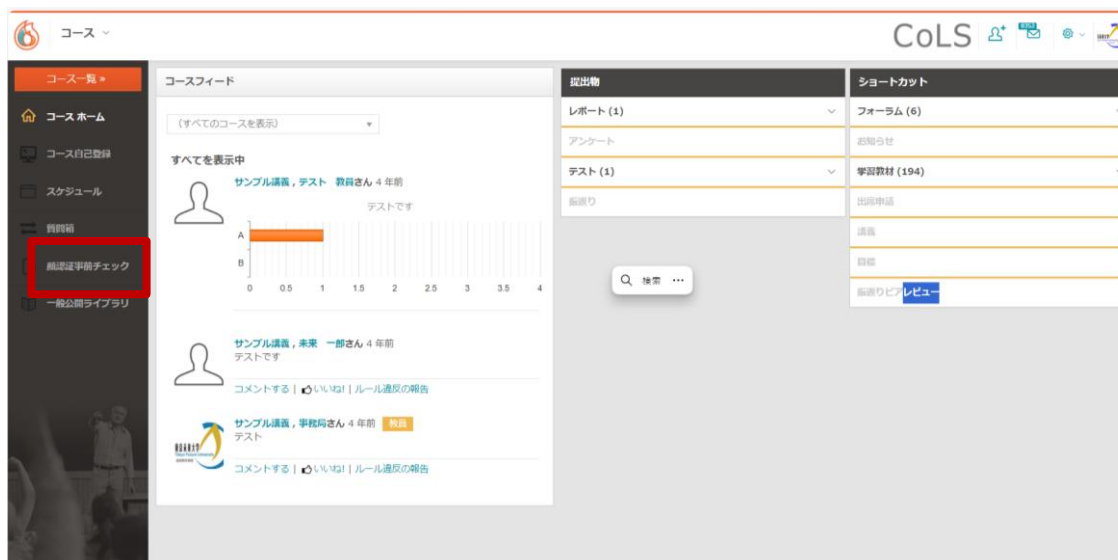
「顔認証事前チェック」の方法について

1. 「顔認証事前チェック」を開く方法

1.1 CoLS ログイン後、画面左上上の「ポータル」をクリックし、下に出る吹き出しから「コース」を選択します。



1.2 顔認証事前チェックをクリックします。



2. 顔認証事前チェックを行う

2.1 顔認証事前チェックを行うには、出願の際にご提出いただいた本学で登録をしている写真と、実際に撮影された写真が認証される必要があります。



～この間で、使用 PC のカメラ使用許可を求めるダイアログが表示される場合がありますが、「許可する」等を選択し、カメラが使用可能なように設定をしてください。～

2.2 「撮影する」ボタンを押して撮影を行う。



2.3 認証に成功した場合、画面左下部分に「認証に成功しました」と表示されます。



2.4 認証に失敗した場合、画面左下に「認証に失敗しました」と表示されます。「もう一度やり直すには「ここ」をクリックします。」のリンク部分をクリックすると、再度撮影が可能となります。



顔認証機能 FAQ

1. 「顔認証事前チェック」のメニュー表示がされない

CoLS を表示している画面表示倍率が関係している可能性があります。

P.5 の資料を参照の上、画面表示倍率を下げてください。

2. ブラウザのカメラ設定について

カメラが起動しない場合には、個人 PC のブラウザ設定が関係している可能性があります。P.6 以降の資料をご参照の上、ご対応ください。

3. 顔認証実施時の眼鏡や髪型等の問題について

眼鏡や髪型の変化については、認証には影響されないことが確認されていますので、認証が成功しない場合には照明の状況等その他の内容による認証率の低下の可能性があります。

4. 認証回数について

1 回で認証されなければ受験ができない訳ではなく、受験の都度、複数回のチャレンジが可能であり、認証された時点から受験可能となります。勿論テストの制限時間も、受験可能となった時点からカウント開始です。

但し、毎回認証成功まで複数回チャレンジしないと成功しない等の事象が発生する場合には、登録写真の差し替え等の対応を実施いたします。なお写真の差し替え方法については、認証に時間がかかる方や認証度数が低い方へ個別に案内いたします。

5. 記録される画像について

認証が成功した場合には画像データは保存されず、認証に失敗したデータのみが保存され、必要に応じて人間が確認します。

顔認証は、テスト受験前に 1 回認証を行い、そちらにクリアすれば受験が可能です。

その後、テスト受験中も複数回認証が行われますが、テスト中に認証度が低下した場合でもそれを理由に受験が中断されることはありません。

但し、テスト受験中の認証度が著しく低い場合には、テスト期間終了後に人間が画像データ確認を行い、必要に応じて対応を行います。

なお、Zoom 等の WEB 会議システムで使用可能な背景の加工については、カメラ解像度や通信環境に影響が出るためそういった機能はありません。

「顔認証事前チェック」のメニュー表示がされない場合

このように文字が表示されない状態の場合、画面表示の倍率を下げて頂ければ、文字も表示されます。



カメラの許可設定について

東京未来大学 通信教育部

「登録されている写真」が表示されない



「顔写真未登録」という表示がされる場合は、大学にご一報ください。



左記のように、写真だけが表示されない場合は、セキュリティソフトによるブロックの影響が考えられます。CoLSページへのブロックを解除してください。

「撮影された写真」が表示されない

■カメラの動作確認

[Windows の場合]

Windowsスタートをクリックし、「カメラ」をクリックします。
カメラの画像が映し出されます。

[Macの場合]

OSを起動しアプリケーションフォルダ内の「FaceTime」を起動します。
「ビデオ」の中から、「USBカメラ」を選択します。
プレビュー画面に本製品で撮影した映像が映し出されます。

上記の通りカメラの動作確認をしても映らない場合は、カメラの故障の可能性がります。

バーチャルカメラでは本人確認（本人認証）ができません。CoLSサイト上では物理カメラ⇔バーチャルカメラの切り替えができませんので、バーチャルカメラはOFFにするか、事前にPCから取り外してください。

「撮影された写真」にこのような画像が表示される場合は、バーチャルカメラが接続されている可能性が高いです。



■Windowsのカメラ許可設定

WindowsのPCを使用している場合は、以下の通りカメラ許可設定の確認をしてください。

1. [スタート]>[設定]を開く
2. [プライバシーとセキュリティ]>[カメラ]をクリックする
3. [カメラへのアクセス]がオンになっていることを確認する
4. [デスクトップアプリがカメラにアクセスできるようにする]がオンになっていることを確認する

■ブラウザ設定の確認

ブラウザの設定を確認してください。

[Windows Microsoft Edge]

設定ページ `edge://settings/content/camera`

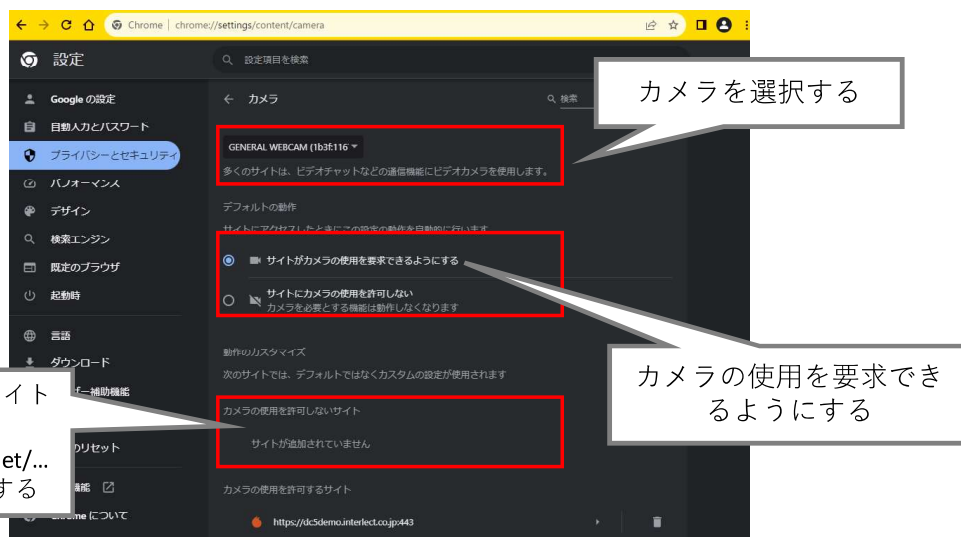
The screenshot shows the Windows Microsoft Edge settings page for camera permissions. The page title is "設定" (Settings) and the sub-page is "サイトのアクセス許可 / カメラ" (Site permissions / Camera). The main content area has three sections: "カメラ" (Camera), "アクセスする前に確認する (推奨)" (Check before accessing (recommended)), and "ブロック" (Block). The "カメラ" section shows a dropdown menu with "GENERAL WEBCAM (1b3f1167)" selected. The "アクセスする前に確認する" section has a toggle switch turned on. The "ブロック" section shows "利用可能なサイトはありません" (No sites are available for blocking). Below the main content, there is a "許可" (Permissions) section with a list of sites, including "https://dc5demo.interlect.co.jp:443".

Callouts in the image:

- カメラを選択する (Select camera)
- アクセス前確認をオンにする (Turn on check before access)
- ブロックにCoLS (https://www02.tokyoumirai.net/...) が入っている場合は削除する (If CoLS (https://www02.tokyoumirai.net/...) is blocked, delete it)

[Windows Google Chrome]

設定ページ chrome://settings/content/camera



[Mac OS Safari]

1. Mac OSデバイスで Safari アプリを開く
2. CoLS (<https://www02.tokymirai.net/...>) サイトにログインする
3. [Safari]メニューの[(環境)設定] をクリックする
4. 設定画面上部の[Webサイト]をクリック
5. 画面左の[カメラ]をクリックする
6. CoLS (<https://www02.tokymirai.net/...>) サイトの[確認]をクリックし、[許可]を選択する